

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験国語 出題意図

〔大問 1〕 論理的文章 出題の意図

「ファッション」の本質に関する内容について出題した。2つの文章を用い、それぞれの筆者が「ファッション」をどのように捉えているか、文中に出てくる「流行のシナリオ」、「はずし」という能動的な姿勢」などの表現についてその内容を理解したうえで、論理的文章を読み解く力を問うものである。

〔大問 2〕 文学的文章（近代以降の文章）出題の意図

梶井基次郎の小説を課題文とし、漢字の読み、語彙力を問う問題、文章中の抽象的表現の内容理解、読解力を問う問題を出題した。また、研究者による作品解説と併せて出題することで、作品設定の深い理解や、解釈の妥当性を問うものである。

〔大問 3〕

・ 選択問題 A（現代文）

社会における概念と現実の関係に関する内容について出題した。家族制度や氏をめぐる議論において、「夫婦別姓」の歴史性と変遷、法制度との関係について、本文の記述の意味を理解したうえで、論理的文章を的確に読み解く力を問うものである。

・ 選択問題 B（古文）

天皇の島流し、寵妃の没落、天神信仰などが描写された古文から出題した。本問の古文の表現は琉球和文等にも影響を与えたと指摘されている。古語の意味の把握、文法事項の確認、古典文の文章内容理解、本文の歴史的経緯など、古典を読解する上で必要な事柄を問っている。本文についてディスカッションする部分も含まれている。

・ 選択問題 C（古文および「国語学習の基礎となる事項」）

戒壇をめぐる約束を破った天皇への僧の怨念が描写された古文から出題した。基本的な文法事項の確認や、文章内容理解など、古典を理解する上で基礎的な事項を問っている。古文以外にも、容易な漢文句法、日本文学史における表現技法的な事項も扱い、「国語学習の基礎となる事項」を意識して問題を作成している。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験
英語(専門高校・総合学科卒業生選抜試験含む) 出題意図

〔大問Ⅰ〕

選択問題：高校で学ぶ基礎的な文法・語法能力を問う。

〔大問Ⅱ〕

整序問題：英文を構成する基礎的な力を問う。

〔大問Ⅲ〕

会話の流れや内容理解を踏まえ、状況に応じた適切な表現を見抜く力を問う。

〔大問Ⅳ〕

身近な話題について書かれた英文についての理解度と著者の意図を正確に把握しているかを問う。

〔大問Ⅴ-A〕

英文の内容理解に基づき、本文の情報を正確に読み取る力を問う。

〔大問Ⅴ-B〕

本文の内容を踏まえ、語彙および文脈理解に基づく適切な語彙の選択力を問う。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験歴史総合 出題意図

〔大問Ⅰ〕

本問は、学習指導要領の大項目 A 「歴史の扉」の中項目(1)「歴史と私たち」に記載されている「私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象」の事例として「万国博覧会」を取り上げ、日本やイギリスの近代化と万国博覧会との関係についての知識、思考力・判断力・表現力、資料読解能力を問うことを意図している。

〔大問Ⅱ〕

本問は、「歴史総合」大項目 B 「近代化と私たち」での学びを念頭に、産業革命をテーマとした生徒の会話文をもとに、関連する知識と思考力・判断力・表現力を問うものである。

〔大問Ⅲ〕

本問は、「歴史総合」大項目 B 「近代化と私たち」での学びを念頭に、ペリー来航をテーマとしたワークシートをもとに、関連する知識と思考力・判断力・表現力を問うものである。

〔大問Ⅳ〕

本問は、「歴史総合」大項目 C 「国際秩序の変化や大衆化と私たち」の中項目 (2) 第一次世界大戦と大衆社会を踏まえて、第一次世界大戦終結後の国際秩序の再編についての知識、思考力・判断力・表現力を問うものである。

〔大問Ⅴ〕

本問は、「歴史総合」大項目 C 「国際秩序の変化や大衆化と私たち」の中項目(3)「経済危機と第二次世界大戦」を踏まえて、朝鮮戦争をめぐる国際社会の変遷および日本との関連について知識、思考力・判断力・表現力を問うものである。

〔大問Ⅵ〕

本問は、学習指導要領の大項目 C 「国際秩序の変化や大衆化と私たち」の中項目(3)「経済危機と第二次世界大戦」のうち、小項目(イ)で挙げられている「平和条約と日本の独立の回復」を前提として、日本の国際社会への復帰に関する知識、思考力・判断力・表現力、資料読解力を問うことを意図している。

〔大問Ⅶ〕

本問は、学習指導要領の大項目 D 「グローバル化と私たち」の中項目(3)「世界秩序の変容と日本」のうち、小項目(イ)で挙げられている「冷戦の変容と終結の背景」を前提として、1989年におきた国内外の事象に関する知識、思考力・判断力を問うことを意図している。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験世界史探究 出題意図

〔大問Ⅰ〕

本問は、学習指導要領の「A 世界史へのまなざし」における「(2)日常生活から見る世界の歴史」で「身の回りの諸事象」として例示されている家族を前提として、古代・中世・近代の各時代における家族に関わる事象を題材として、それぞれの時代や社会における家族制度の特徴に関する知識を問うことを意図している。

〔大問Ⅱ〕

古代ギリシアのポリス文化の特質と、その後のヘレニズム世界への展開を歴史的連続性の中で理解しているかを確認する問題である。人物・文化・科学の基礎知識に加え、都市国家の変容と思想の広がりを構造的に捉える歴史的思考力を問うている。

〔大問Ⅲ〕

中国の明から清の時代にかけての貿易政策の特徴についての理解を問う問題。明・清の対外政策の基本的特徴の把握に加えて、国際情勢が変化するなかでの貿易のあり方の変化の特徴を記述することができるか確認している。

〔大問Ⅳ〕

神聖ローマ帝国を軸に 15 世紀から 17 世紀のヨーロッパの国際関係についての理解を問う問題。基礎的事項の確認に加えて、宗教的対立と政治的対立が複雑にからみあう状況を整理して理解できているか確認している。

〔大問Ⅴ〕

本問は、学習指導要領の「D 諸地域の結合・変容」における「(2)世界市場の形成と諸地域の結合」の小項目(ア)で挙げられている「大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象」、及び「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」の小項目(ア)で挙げられている「第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争」を前提として、18～19 世紀のアメリカ合衆国を題材として、建国後のアメリカ合衆国の状況や対外関係、アメリカ合衆国の領土拡張と対外政策についての知識、思考力、地図・絵画等の資料読解力を問うことを意図している。

〔大問Ⅵ〕

本問は、学習指導要領の「D 諸地域の結合・変容」における「(3)帝国主義とナショナリズムの高揚」の小項目(イ)で挙げられている「列強の対外進出とアジア・アフリカの動向に関わる諸事象」を前提として、19 世紀末～20 世紀初頭のアジア地域の国境画定の状況を題材として、当時のアジア地域における国際関係についての知識、思考力・判断力・表現力、資料読解力を問うことを意図している。

〔大問Ⅶ〕

第二次世界大戦後に形成された国際秩序と国際機関の仕組みを正確に理解しているかを確認する問題である。基礎的知識に加え、安保理の拒否権や各国の国益といった制度的・政治的要因を資料から読み取り、現代国際社会の課題を多面的に考察する力を問うている。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験日本史探究 出題意図

〔大問Ⅰ〕

近世の歴史事象について、教科書の理解を踏まえ、史料を読解し適切に説明することができるかを問う。

〔大問Ⅱ〕

先史・古代の歴史事象について、教科書の理解度を問う。

〔大問Ⅲ〕

先史時代から近世までの日本の葬墓制についてその変遷を、物質文化（画像）を用いて適切に前後関係を把握することができるかを問う。

〔大問Ⅳ〕

近代の政治・外交・国際関係について、教科書の理解を踏まえ、史料を読解し適切に説明することができるかを問う。

〔大問Ⅴ〕

中世の歴史事象について、教科書の理解度を問う。

〔大問Ⅵ〕

古代から現代までの文化史を中心について、人物、出来事、建築物等の理解度を問う。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験地理総合 出題意図

〔大問 1〕

自然災害とくに地震の種類と特徴・震災の被害に関する基礎的知識を問う。

〔大問 2〕

世界宗教や民族宗教の特徴と食事や服装などの人々の生活文化に関連した内容やそれら地域の産業などの基礎知識を問う。

〔大問 3〕

エネルギー資源に関する基礎知識を踏まえて、各国のエネルギー問題への取り組み状況についての理解度を問う。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験地理探究 出題意図

〔大問 1〕

温室効果ガスや地球温暖化の現状と対応策、また、大気汚染の特徴と影響などの地球環境問題の基礎知識を問う。

〔大問 2〕

ラテンアメリカの工業化と経済発展に関する基礎知識を問う。

〔大問 3〕

学習指導要領の「地理的技能」に関して、新旧の地形図を比較して、地理的事象を読み取り、その変化を記述することで、地域的特性の理解度を問う。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験公共 出題意図

〔大問Ⅰ〕

法の支配や権力分立などの近代立憲主義の基本原則と、議会制民主主義や憲法改正手続の仕組み、さらにアメリカの政治体制についての基本的知識を総合的に問う。

〔大問Ⅱ〕

日本国憲法における司法権や違憲審査制などの司法制度の基本原則を問うとともに、裁判員制度やADRを含む現代の司法制度に関する基礎的な理解を確認する。

〔大問Ⅲ〕

現代における国際経済システムの歴史的変遷を、論理的かつ正確に理解しているかを測る。

〔大問Ⅳ〕

基礎的な経済思想、日本経済の歩みとメカニズム、日本を取り巻く国際経済の枠組みについての知識を確認する。

〔大問Ⅴ〕

問1～9は心理学、倫理・哲学、社会学の分野の基礎知識を幅広くかつ正確に理解しているかを、問10は、現代社会の諸問題に関心をもっているかを確認する。

〔大問Ⅵ〕

義務論と功利主義という公共判断の基盤的枠組について、基本的な理解をしているかを測る。

〔大問Ⅶ〕

現代の国家間関係における国際法の役割、特徴、問題点を、主要な専門用語を用いて体系的に理解しているかを測る。

〔大問Ⅷ〕

日本国憲法の戦争放棄の方針について、具体的な法律や概念の知識を確認する。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験政治・経済 出題意図

〔大問Ⅰ〕

地方自治を行う機関である地方公共団体について、直接民主制の理念などに関連する理解度を問う。

〔大問Ⅱ〕

基本的人権と法の下での平等を中心に、教科書の内容を踏まえつつ、日本国憲法の条文に関する正確な文言の知識を問う。

〔大問Ⅲ〕

移民や難民に加えて、領土や領海の領有権について、基本的な概念を把握できているかの能力を測る。

〔大問Ⅳ〕

労働問題についての法整備や、変化する働き方についての理解度を問う。

〔大問Ⅴ〕

需要曲線と供給曲線のシフトに関する要因についての理解度を問う。

〔大問Ⅵ〕

企業の特徴および株式会社の仕組みに関する理解度を問う。

〔大問Ⅶ〕

中小企業に関する重要な用語を記す能力を測る。

〔大問Ⅷ〕

産業と多国籍企業に関する正確な知識を確認する。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験倫理 出題意図

〔大問Ⅰ〕

フランシス・ベーコンを祖とするイギリス経験論について取り上げ、大陸合理論との違いの理解や、ロック、バークリーを経てヒュームへと至る思想展開の理解を問うものである。

〔大問Ⅱ〕

孔子の思想について、基本的な内容の理解を問うとともに、法家との違いについても問うものである。

〔大問Ⅲ〕

ベンサムやミルによる功利主義思想の内容理解を、18世紀～19世紀イギリスの時代背景をふまえて問うものである

〔大問Ⅳ〕

倫理の教科書に掲載されている現代社会の課題やトピックとして取り上げられる時事的な用語を題材とし、生徒が社会の出来事に関心を持ち、倫理で学んだ知識を自分自身の生活と結び付けて理解できているかを問うことを目的としている。

〔大問Ⅴ〕

現代社会における課題の一つである少子化が社会に与える影響について理解し、自分の言葉で要点を整理し、簡潔で論理的に表現する力、すなわち文章構成力や記述力を測ることも目的としている。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験数学 I ・数学 A 出題意図

〔大問 1〕

二次関数と関数の平行移動を理解しているかを問う問題

〔大問 2〕

因数分解、平方根、一次不等式の基本を理解しているかを問う問題

〔大問 3〕

三角形の重心および内心の性質を理解しているかを問う問題

〔大問 4〕

反復試行の確率と場合の数の数え上げを理解しているかを問う問題

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験リスニング 出題意図

「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」のレベルを網羅するよう難易度に幅を持たせるため、大問ごとに難易度が上がるような構成とした。それに合わせて、リスニングの内容も文レベル、会話、長めのパッセージを聞き取る能力を測定するように配列している。高等学校の教科書で扱われるような日常的话题から社会的な問題に至るまでトピックのバリエーションにも配慮した。各セクションのねらいや意図は以下の通りである。

セクション A：短文を聞いて同じ意味の文を選ぶ

短文であるが、自然な速さで放送されるために基本的な語彙力と英語音声の聞き取り能力が試される

セクション B：質問に対する正しい応えを選ぶ

セクション A 同様短文であるが、自然な速さで放送されるため、基本的な語彙力と英語音声の聞き取り能力に加え、会話を成立させるコミュニケーション能力が試される

セクション C：会話を聞いてその内容に関する質問に対する正しい答を選ぶ

会話の内容を理解するための談話能力が試されるため、中級レベルの語彙力と聞き取り能力が要求される

セクション D：長めのパッセージを聞き、その内容に関する質問に対する正しい答を選ぶ

聞き取る量が多いため難易度が最も高い。高度な語彙力・聞き取り能力に加え、様々なトピックに関する背景知識も要求される。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験生物基礎 出題意図

〔大問Ⅰ〕

生物の共通性としての細胞について、進化の道筋と構造の違いの理解を問う出題である。

〔大問Ⅱ〕

生物の細胞内における DNA の役割と構造、遺伝子発現の過程に関する理解を問う出題である。

〔大問Ⅲ〕

ヒトの体内における情報伝達と生理学現象について理解と思考力を問う出題である。

〔大問Ⅳ〕

生態系における植生遷移について理解と思考力を問う出題である。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験琉球・沖縄史 出題意図

〔大問 1〕

首里城の写真に関する生徒の会話文を手がかりに、琉球王国の外交関係、いわゆる「廃琉置県（琉球処分）」による日本への編入、世界遺産としての文化遺産、さらに沖縄戦の歴史までを関連づけて理解しているかを確認することを目的としている。首里城を軸に、琉球王国の国際関係から近代の政治変動、戦争体験、戦後の文化遺産保護まで、琉球・沖縄の歴史を時代を越えて総合的に捉える力を問う内容となっている。

〔大問 2〕

生徒の会話文をもとに、琉球王国期の資料とその利用可能性についての理解を問う内容となっている。

〔大問 3〕

沖縄戦前後の歴史的経緯について大まかな流れを把握しているか、沖縄戦の実相についての基本的な理解があるかについて問う内容となっている。

〔大問 4〕

不発弾問題という沖縄戦から現代へとつながるテーマについて、関連するグラフから時代背景を読み解けるか、また、冷戦史や沖縄戦後史についての基本的な理解があるかを問う内容となっている。

令和 8(2026)年度 沖縄国際大学一般選抜試験マーケティング 出題意図

〔大問 1〕

マーケティングの基礎概念（顧客志向・ニーズ・顧客満足・ロイヤルティ・顧客創造など）の理解と、その相互関係を整理できる力を問う。

〔大問 2〕

購買意思決定過程や購買後行動モデルを通して、消費者心理と行動を体系的に理解し、適切に説明できる力を問う。

〔大問 3〕

市場調査の目的・データ区分・調査方法・調査手順・インタビュー法についての基礎的理解を整理し、実務に応用できる力を問う。

〔大問 4〕

本設問は、マーケティング・ミックス（製品・価格・チャネル・プロモーション）の各政策について、教科書に基づく理解度を問う。

〔大問 5〕

本設問は、受験生がビジネス分野に必要な力を有しているかを測定する。国内外の事象に対する情報収集・整理・分析力と、課題を議論する理解力・表現力を評価する。